

2022年度事業報告書

2022年4月1日～2023年3月31日

1 事業の成果

2022年度は、2020年度、2021年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止への対応に配慮しながらの活動を余儀なくされた一年であった。

各事業実施段階での感染状況に応じて、対面方式とオンライン方式の開催を組み合わせながら、「地域における環境改善への取組」、「市民活動及び他地区との交流」及び「臨海部の活性化に向けた連携活動」などの事業を推進し、会員間の交流と川崎市との連携活動を進めた。

リエゾン研究会については「対面方式」により、JFE スチール(株)東日本製鉄所京浜地区及び羽田イノベーションシティの視察、東亜石油(株)によるドローン活用による保安業務の実証結果等についての発表など会員企業の取組事例等の相互の情報共有を図るとともに、川崎市と連携し臨海部ビジョン・リーディングプロジェクトに関連した取組を進めることができた。

第13回目となった「コンビナート都市連携シンポジウム」については、参加者数を限定した会場での聴講とオンラインのライブ中継を組み合わせたハイブリッド方式により、国際大学副学長の橘川武郎教授による「カーボンニュートラルコンビナート川崎」と題する基調講演、特別講演としてENEOS(株)の水素サプライチェーンの取組をはじめ、鹿島、京葉、山口県周南の各コンビナートでのカーボンニュートラルの取組について発信した。全国各地の300名を超える企業関係者や自治体関係者が参加する中で、脱炭素化に対応したコンビナート地区の今後の取組方向性について情報共有を図ることができた。

11月及び2月に開催した川崎市との政策懇談会については、コロナウイルス感染対策を徹底したうえで、対面方式により開催し川崎市の臨海部施策推進担当の5局長・1本部長からの政策課題発表と会員企業2社(11月)及び3社(2月)の最近の取組事例の発表により情報共有を図ることができた。

「川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会」では、オンライン会議方式により、東扇島・水江町線の進捗状況、継続課題としての冠水対策について川崎市の道路関係部局と会員企業で活発な意見交換を行ない臨海部の環境改善に向けた取組を進めた。

川崎市主催・当NPO共催事業として実施した「製造現場の安全管理講座」前期コースには8社延べ34名、後期コースには8社延べ81名に受講いただき、地域の人材育成並びに安全環境の向上につなげた。

受託事業として新たに臨海部企業交流イベントとして施設見学会並びにウォークイベントを開催し、臨海部に働く方たちの企業の枠を超えた交流を進めた。

3年振りに対面方式の開催となった第15回川崎国際環境技術展に出展し、企業関係者並びに市民に対して当NPOの活動内容を紹介した。

また、「低CO2川崎ブランド等推進協議会」に参画し川崎市が推進する「低CO2川崎ブランド認定制度」及び「川崎メカニズム認証制度」への支援活動を行うとともに、「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」に基づく「川崎市地球温暖化対策推進に関する条例の改正に向けた重要施策の考え方」について会員企業の考えが反映されるような働きかけを行なった。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

(定款第5条① 産業活性化及び環境保全に関わる調査・研究事業)

◎自主事業ア リエゾン研究会・政策懇談会事業

・費用額 36,399 円

・内容

「リエゾン研究・政策懇談会」は、リエゾン研究会として①IoT、カーボンニュートラルなどの課題に対して会員企業等が取り組んでいる事例について会員相互の情報共有を図る、②会員企業や関連事業者等による新たな土地活用等についての視察会等を通じて活性化策や環境改善策につなげる、③川崎市の「臨海部ビジョン・リーディングプロジェクト」に関連したテーマについての提案や共同取組みを行なうことを目的に取組みを進めてきたが、2022年度は以下の研究・交流会を開催した。

また、川崎市との政策懇談会は臨海部関連の川崎市の政策課題取組状況・予算措置状況等並びに会員企業の新たな課題への取組み状況について、役員・会員と川崎市関係局幹部との情報共有並びに意見交換を行なった

【第1回リエゾン研究会(JFE スチール(株)東日本製鉄所京浜地区)】

◇視察・情報交換内容

・JFE スチール(株)東日本製鉄所京浜地区を視察し、現況の土地利用と2023年に予定している高炉休止等に伴う動向について情報共有を図った。

・日時 2022年4月26日(火)

・場所 JFE スチール(株)東日本製鉄所京浜地区

・従事者人員 3人

・対象者 リエゾンセンター会員企業及び行政職員等 27人

【第2回リエゾン研究会(羽田イノベーションシティ内「Pi0 PARK」視察・交流会)】

◇視察・情報交換内容

・多摩川の対岸に立地する羽田イノベーションシティを視察し、施設概要とともに大田区のものづくり産業の特徴、大田区産業振興協会による企業マッチング支援について情報共有を図った。併せて大田区内の超専門加工技術のミニ展示会を視察した。

・日時 2022年7月20日(水)

・場所 羽田イノベーションシティ内「Pi0 PARK」(東京都大田区羽田空港1丁目)

・従事者人員 3人

・対象者 リエゾンセンター会員企業及び行政職員等 22人

【第3回リエゾン研究会(リーディングプロジェクト改定に向けた意見交換会)】

◇意見交換内容

川崎市臨海部国際戦略本部から「臨海部ビジョン」リーディングプロジェクトについての検討状況を報告いただくとともに、①産業競争力の強化・人材育成、②カーボンニュートラルの推進、③働きやすく暮らしやすい環境づくり、④交通機能の強化、快適な交通アクセス

の実現、⑤災害対応力の向上の5つのテーマに沿ってワークショップを行なった。

- ・日時 2022年9月14日(木)
- ・場所 川崎市産業振興会館 12階会議室
- ・従事者人員 3人
- ・対象者 リエゾンセンター会員企業及び行政職員等 31人

【第4回リエゾン研究会(ドローン活用事例の情報共有)】

◇情報共有の内容

工場プラントメンテナンスへのIoT活用としてドローン導入が注目されているが、第一部として会員企業の東亜石油㈱から「ドローンによる検証飛行導入について」、第二部として関係企業の㈱センシンロボティクスから「センシンロボティクスにおけるドローン等を用いた業務プロセス改革の取組みについて」、第三部として神奈川県政策局自治振興部地域政策課から「京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議におけるドローン飛行計画書検討ワーキンググループの取組みについて」発表をいただき意見交換・情報共有を行なった。

- ・日時 2022年11月22日(火)
- ・場所 川崎市産業振興会館 12階会議室
- ・従事者人員 3人
- ・対象者 リエゾンセンター会員企業及び行政職員等 23人

【第5回リエゾン研究会(リーディングプロジェクト改定に向けた意見交換会)】

◇意見交換内容

- ・臨海部ビジョン改定内容について
- ・2022年度実施事業の振り返りと2023年度事業の進め方について
- ・日時 2023年3月10日(金)
- ・場所 川崎市産業振興会館 12階会議室
- ・従事者人員 3人
- ・対象者 リエゾンセンター会員企業及び行政職員等 (リアル16人、WEB 8人)

【第1回政策懇談会】

◇川崎市5局・1本部からの情報提供

- [経済労働局] 「第15回川崎国際環境技術展の開催等について」
- [環境局] 「川崎市地球温暖化対策推進に関する条例の改正について」
- [まちづくり局] 「川崎駅周辺地区の開発動向について」
- [建設緑政局] 「全国都市緑化かわさきフェアの開催及び多様な主体との協働・共創の取組みについて」
- [港湾局] 「川崎港カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画の検討について」
- [臨海部国際戦略本部] 「臨海部ビジョンに基づくリーディングプロジェクトの取組」

◇会員企業からの情報提供

- [JFEスチール株式会社] 「カーボンニュートラルビジョン、カーボンニュートラルポートへの取組みについて」
- [東京電力パワーグリッド株式会社] 「法改正に基づく託送料金の見直しについて、今冬の

需給見通しについて

【第2回政策懇談会】

◇川崎市5局・1本部からの情報提供

[経済労働局] 「グリーンイノベーションの推進・産業集積の形成について」

[環境局] 「新たな計画書・報告書制度の構築に向けた取組」

「地域エネルギープラットフォームを担う『地域エネルギー会社』」

「カーボンニュートラル化を目指した廃棄物処理施設の中長期的な整備構想の策定に向けた取組」

[まちづくり局] 「川崎駅周辺の取組状況」、「衛星 SAR を活用した取組」

[建設緑政局] 「全国都市緑化かわさきフェアの取組状況」

[港湾局] 「カーボンニュートラルポートの形成に向けた取組」

[臨海部国際戦略本部] 「川崎臨海部研究開発機能強化補助金制度(案)」等

◇会員企業からの情報提供

[クレハ環境株式会社] 「PFOS 及び PFOA 含有廃棄物の現状と当社の取組」

[総合警備保障株式会社] 「プラント等施設向け安全安心トータルソリューションサービス」

[レゾナック株式会社] 「レゾナック発足 新会社の概要、経営理念等」

・日時 第1回政策懇談会 2022年11月10日(木)

第2回政策懇談会 2023年2月8日(水)

・場所 第1回政策懇談会、第2回政策懇談会ともに川崎市産業振興会館1階ホール

・従事者人員 10人(会員企業幹事7名を含む(無給))

・対象者 「第1回川崎市との政策懇談会事業」

リエゾンセンター役員・会員35名と川崎市関係局幹部21名

「第2回川崎市との政策懇談会事業」

リエゾンセンター役員・会員33名と川崎市関係局幹部25名

(定款第5条② 産業活性化及び環境保全に関わる普及・広報事業)

◎自主事業イ 普及・広報事業

・費用額 653,451円

◎イ-1 「コンビナート都市連携シンポジウム(第13回)の開催事業」

・内容

本シンポジウムはこれまで12回にわたり、鹿島、京葉、京浜、四日市をはじめ全国各地のコンビナート地域等の先進的な取組事例等を取り上げ、地域間連携や事業所間連携、産学官連携の取組について情報共有並びに議論を深めてきました。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し Web での聴講を取り入れながら、各地コンビナートでの脱炭素化や IoT への対応に向けた臨海部地域での先進的な取組の情報発信を図った。

■基調講演

「カーボンニュートラルコンビナート川崎」

国際大学 副学長 大学院国際経営学研究科 橘川武郎 教授

■特別講演(事例発表)

講演者

◇ENEOS(株) 水素事業推進部主幹 前田征児氏

「ENEOSの水素サプライチェーン構築の取組み」

◇三菱ケミカル(株) グリーントランスフォーメーション推進本部長 馬渡 謙一郎氏

「カーボンニュートラルに向けた三菱ケミカルグループの取組み」

◇千葉県 商工労働部産業振興課 産業企画室長 末永道生氏

「京葉臨海コンビナートにおける取組について」

◇周南市 産業振興部商工振興課コンビナート脱炭素推進室長 吉村渉氏

「周南コンビナートの脱炭素化に向けた取組について」

[主催] 当NPO法人 [共催] 川崎市

[後援] 関東経済産業局、神奈川県、茨城県、千葉県、四日市市、周南市

川崎商工会議所、公益財団法人 川崎市産業振興財団、

石油コンビナート高度統合運営技術研究組合(RING)、(株)化学工業日報社

- ・日時 2022年10月25日(火)
- ・場所 会場参加者数を限定したシンポジウムを川崎市産業振興会館1階ホールで開催し、Web会議方式で中継映像を全国各地の参加者に配信し聴講いただいた。
- ・従事者人員 8人(当センターからの委託先要員4人、会員企業幹事1人を含む)
- ・対象者 リエゾンセンター会員、後援団体、市内の関係者・市民、全国各地で関心のあるコンビナート関係企業・行政機関、発表者等に聴講を働きかけ、300名以上がWebにより聴講をした。

◎イー2 「展示会等への出展事業」

・内容

a 第15回川崎国際環境技術展への出展

「持続可能な未来への懸け橋、かわさきグリーンイノベーション」をテーマとした展示会は、3年振りにカルッツかわさきで展示会場を設けての開催となったが、当センターのブースでは、センター事業の概要、川崎臨海部発展の歴史や今後の方向について展示により情報発信を行なった。

b 川崎区企業市民交流事業推進委員会主催の「知ろう、学ぼう、かわさき市民企業交流 Day」

当NPO法人の活動状況の紹介パネルを展示した。また、会員企業のENEOS(株)、JFEスチール(株)、(株)レゾナック、東京ガスネットワーク(株)、東京電力パワーグリッド(株)もパネル展示により活動を紹介した。

・日時

a 第15回川崎国際環境技術展 2022年11月17日(木)～11月18日(金)

b 「知ろう、学ぼう、かわさき市民企業交流 Day」2022年11月23日(水)

・場所

- a 第15回川崎国際環境技術展 カルッツかわさき(川崎区富士見 1-1-4)
- b 「知ろう、学ぼう、かわさき市民企業交流 Day」 川崎ルフロン(川崎区日進町 1-11)

・ 従事者人員

- a 第15回川崎国際環境技術展 5人
- b 「知ろう、学ぼう、かわさき市民企業交流 Day」 2人

・ 対象者

- a 第15回川崎国際環境技術展 展示会に関心のある人
- b 「知ろう、学ぼう、かわさき市民企業交流 Day」 川崎区民及び交流 Day に関心のある人

◎イ-3 「川崎市・リエゾンセンター定期情報交換会事業(月例メール配信事業)」

・ 内容

本情報交換会は、臨海部に関連する会員情報並びに行政からの施策情報等を相互に交換し情報共有を図るとともに必要な情報を会員に提供した。

・ 日時

2022年4月12日(火)に第1回情報交換会を開催し、5月以降は毎月第2週にメール配信による情報共有を行なった。

・ 場所 共有した情報についてはメール配信により全会員企業に提供した

・ 従事者人員 2人

・ 対象者

NP0 法人会員企業 19社

川崎市; 臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部、経済労働局イノベーション推進部、環境局脱炭素戦略推進室の課長、係長、担当職員 9人

当 NP0 法人; 専務理事、事務局 3人

※メールによる情報共有先は会員企業 19社と事務局及び川崎市関係部局職員 約30人

◎イ-4 「会報の発行事業」

・ 内容

会員向けの当 NP0 法人に係る広報として、NP0 法人の活動状況、会員企業の臨海部関連情報などを提供した。

<第43号> 「第71回理事会」・「第18回通常総会・記念講演会」、「リエゾン研究会(視察会)JFEスチール(株)扇島地区、羽田イノベーションシティ」

<第44号> 「コンビナート都市連携シンポジウムの開催」、「川崎市との政策懇談会」、「川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会」、「製造現場の安全管理講座(前期)の開催」、「循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議の開催」、「第15回川崎国際環境技術展へのブース出展」、「知ろう!学ぼう!かわさき企業市民交流 Day へのブース出展」

<第45号> (予定) 「第74回理事会」・「川崎市との政策懇談会」、「川崎臨海部活性化推進協議会」

・ 日時

<第43号> (2022年7月26日発行)

<第44号> (2022年12月1日発行)

<第45号> (2021年3月下旬発行予定)

・場所 メール配信により情報提供した

・従事者人員 2人

・対象者 法人会員(19社)・個人会員(16人)

川崎市; 臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部、経済労働局イノベーション推進部、環境局脱炭素戦略推進室(9人)

◎イ-5 「ホームページを通じた情報発信等事業」

・内容

ホームページを通じて、「会員企業の最新の動向」として、会員企業の事業活動に係る最新情報を発信するとともに、当NPO法人が実施した活動を随時掲載した。

・日時 「会員企業の最新の動向」は前月の会員企業各社のプレスリリース情報を取りまとめ翌月の第1週にアップロードした。その他の情報は、随時アップロードした。

・場所 当法人のホームページに掲載

・従事者人員 2人

・対象者 当法人会員企業19社 川崎市関係局・本部、臨海部に興味のある市民・企業

◎イ-6 川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会(通算第24回)」

・内容

臨海部地域における道路工事等の進捗状況と今年度の工事予定についての意見交換

※この懇談会は、臨海部道路を中心とする冠水問題を契機として川崎市建設緑政局の呼びかけにより2009年11月に発足した。

・日時 2022年11月2日(水)

・場所 Microsoft Teams を利用したWebによる会議開催

・従事者人員 3人

・対象者 リエゾンセンター役員・会員9名と川崎市関係局幹部等19名

◎イ-7 「循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議」

・内容

「川崎市の産業廃棄物処理事業における脱炭素化に向けた取組指導計画案」について説明及び意見交換を行なうとともに、コアレックス三栄株式会社東京工場(循環型産業構造・ゼロエミッション製紙工場)の視察を行なった。

※この連絡会議は、環境産業と行政との連携の推進により地球環境にやさしい持続可能なまちの実現を目的に環境局生活環境部の呼びかけにより2009年に発足した

・日時 2022年11月15日(火)

・場所 コアレックス三栄株式会社東京工場

・従事者人員 2人

・対象者 リエゾンセンター役員・会員9名と川崎市関係局幹部5名

◎イ-8 「川崎市港湾整備負担金の負担対象工事説明会」

・日時 2022年11月2日(水)

- ・場所 Microsoft Teams を利用した Web による会議開催
- ・従事者人員 3 人
- ・対象者 リエゾンセンター役員・会員 9 名と川崎市港湾局幹部職員 2 名

(定款第 5 条③ その他この法人の目的を達するために必要な事業)

◎受託事業ア 「川崎臨海部産学公民連携推進事業」

(受託先は川崎市臨海部国際戦略本部)

・費用額 2,607,000 円

・内容ア-1 「川崎臨海部活性化推進協議会」運営等業務

前年度に引き続き上記協議会の事務局として 2 回の協議会の開催・運営を行った。

<2022 年度第 1 回川崎臨海部活性化推進協議会>

[議題]

(1) 臨海部ビジョンの進捗状況

- ・リーディングプロジェクトの改定について
- ・カーボンニュートラルコンビナートに関する取組について
- ・JFE スチール株式会社東日本製鉄所京浜地区の土地利用転換について

(2) リーディングプロジェクトに関する取組

【PJ①新産業拠点形成関連】

- ・新拠点 Shimadzu Tokyo Innovation Plaza の新設(株式会社島津製作所)

【PJ④低炭素型インダストリーエリア構築関連】

- ・CO2 ゼロエミッション貢献に向けた油脂高生産藻による有用脂質生産の取組みについて
(東京工業大学)

(3) 情報提供

- ・東扇島水江町線の整備状況(国土交通省関東地方整備局京浜港湾事務所)
- ・羽田空港の新飛行経路の運用状況等(国土交通省航空局)

<2022 年度第 2 回川崎臨海部活性化推進協議会>

[議題]

(1) 臨海部ビジョンの進捗状況について

- ・リーディングプロジェクトの改定及び投資促進制度案について

(2) リーディングプロジェクトに関する取組

- ・アルカリ水電解システムによる大規模な水素製造への取組(旭化成株)
- ・Cybernetics Medical Innovation Base-A サイバネティクスで未来を拓く
(CYBERDYNE株)

(2) 情報提供

- ・川崎発 市民・事業者・行政の協働による脱炭素チャレンジ(川崎市環境局)
- ・全国都市緑化かわさきフェアの取組状況(川崎市建設緑政局)
- ・殿町夜光線における路上駐停車の抑制対策に関する社会実験について
- ・川崎臨海部しごとスタイルプログラム」実施概要・報告

(川崎市臨海部国際戦略本部)

・日時

<第1回協議会>2022年10月3日(月)14時~16時30分

<第2回協議会>2023年3月15日(水)14時30分~16時30分

・場所

<第1回協議会>川崎市生命科学・環境研究センター1階大会議室(川崎区殿町)

<第2回協議会>㈱島津製作所「Shimadzu Tokyo Innovation Plaza」4階大ホール
(川崎区殿町)

・従事者人員 7人(当センターからの委託先要員4人を含む)

・対象者

各回とも以下のとおり

川崎臨海部立地企業及び準ずる企業・団体等、川崎臨海部地域に関わる経済・産業団体、川崎臨海部産業立地等に関わる大学研究者及び学識経験者等、川崎臨海部地域に関わる地域代表者、行政機関、

◎内容 **ア-2 「臨海部ビジョン・リーディングプロジェクトに基づく企業交流事業等」**

川崎臨海部に立地する事業所の枠を超えた「交流」を図り、働く場としての魅力を再発見することを目的に「臨海部の魅力発見バスツアー」及び「カワリンウォーク 2022 秋大会」を実施した。

〈臨海部の魅力発見バスツアー〉

・内容

川崎臨海部の事業所に勤める若手社員、臨海部の事業所に赴任して間もない社員の方に川崎臨海部のことを知っていただくため、臨海部に立地する製造業事業所、キングスカイフロントに立地する研究機関を訪問、説明を受けた後、参加者間の交流機会を設けた。併せて臨海部の魅力のひとつである工場夜景を車中より見学した。

・日時 2022年11月11日(金)

・場所 味の素㈱川崎事業所(川崎区鈴木町)、
ナノ医療イノベーションセンター(川崎区殿町)

・従事者人員 3名

・対象者 臨海部立地事業所の30社員代前半及び赴任3年未満の社員18名、
川崎市職員3名、リエゾンセンター役職員3名

〈カワリンウォーク 2022 秋大会〉

・内容

川崎臨海部に働く方たちが事業所の枠を超えた交流の機会として、個人でマイペースに歩くことを中心としつつチャットを通じて歩数を競いながら臨海部の魅力スポット等を紹介するオンライン型のウォークイベントを開催した。併せてウォーキングを通じて臨海部の魅力スポット等を訪ね交流するリアルウォークイベントを2回開催した。

・日時

「チャットによるオンラインでのイベント」 2022年11月21日(月)~12月4日(日)

「第1回リアル交流会(キックオフイベント)」2022年11月21日(月)

「第2回リアル交流会(表彰式)」2022年12月10日(土)

・場所

「チャットによるオンラインでのイベント」特定の場所に限定しないオンライン方式

「第1回リアル交流会(キックオフイベント)」千鳥町エリア及び川崎マリエン周辺

「第2回リアル交流会(表彰式)」羽田イノベーションシティ及びキングスカイフロント

・従事者人員 3名

・対象者

「チャットによるオンラインでのイベント」川崎臨海部の事業所で働く社員等20名

「第1回リアル交流会」川崎臨海部の事業所で働く社員等10名

「第2回リアル交流会」川崎臨海部の事業所で働く社員等10名

〈人材育成講座の運営サポート〉

・内容

臨海部ビジョン・リーディングプロジェクト「世界に誇れる人材育成プロジェクト」の一環として川崎市が主催する「製造現場の安全管理講座」の運営をサポートした。

・日時 前期講座 2022年9月8日(木)、9月21日(水)、10月4日(火)、10月13日(木)

後期講座 2023年1月12日(木)、1月25日(水)、2月9日(木)、2月17日(金)

・場所 川崎市産業振興会館会議室及びオンライン配信のハイブリッド方式

・従事人員 2名

・対象者 臨海部事業所で安全管理に携わる社員

前期は延べ34名が受講した。後期は延べ81名が受講予定

◎ア-3 「環境・産業交流コーナー」への資料収集及びインターネットを活用した情報収集・発信

〈環境・産業交流コーナーの管理〉

・内容

川崎市産業振興会館12階の「環境・産業交流コーナー」において以下の情報を収集し閲覧できるよう管理した。

① 川崎臨海部立地企業のカーボンニュートラルに向けた取組状況、CSR・環境レポート、川崎事業所概要

② 石油業界、石油化学業界、鉄鋼業界など臨海部立地業種に係る動向、全国各地コンビナートの動向、川崎市の臨海部関連・地球温暖化対策関連施策

・日時 月曜日から金曜日の10時から16時の時間帯に開館をした。

・場所 川崎市産業振興会館12階

・従事者人員 2名

・対象者 コーナーに関心のある市民・企業等

〈ホームページによる情報収集・発信〉

・内容

毎月、会員企業 19 社の技術革新、国内外展開、社会貢献活動等についてのニュースリリース記事を収集し、収集情報を当 NPO のホームページにアップし会員企業並びに川崎市の臨海部関連部局に配信するとともに一般に公開した。

- ・場所 Web で発信
- ・従事者人員 2 名
- ・対象者 臨海部に興味のある市民・企業等

◎その他事業

各種協議会、委員会等への参加

- ・費用額 0 円
- ・内容

次の各種協議会、委員会等に参加し、川崎市等との連携のもと、それぞれの目的達成に向けて活動した。

◇「川崎温暖化対策推進会議（CC 川崎エコ会議）」（事務局 川崎市環境局脱炭素戦略推進室）

[会長] 足立芳寛理事長

[理事]（34 名の理事の内、味の素(株)、ENEOS(株)、JFE スチール(株)、東京ガスネットワーク(株)、東京電力パワーグリッド(株)の 5 社が参加している）

[運営委員会] 委員長 小泉専務理事

[委員]（10 名の委員の内、東京ガスネットワーク(株)、東京電力パワーグリッド(株)が委員として参加している）

[主な実施事業]

第 11 回スマートライフスタイル大賞表彰式が 2022 年 10 月 26 日(水)に開催された。

◇「低 CO2 川崎ブランド等推進協議会」

[構成団体] 川崎市産業振興財団・川崎商工会議所・当 NPO 法人

[委員長] 足立芳寛理事長（併せて審査部会委員長）

[委員] 小泉専務理事（併せて運営・推進部会委員）

[主な活動内容]

川崎市と産業支援団体等が連携し「低 CO2 川崎ブランド」及び「川崎メカニズム認証制度」の認定・認証を行うとともに、認定・認証製品等のより一層の普及促進を図る活動を展開した。2022 年 11 月 17 日に「2022 年度低 CO2 川崎ブランド」認定式が行われ、次の会員企業が認定を受けた。

JFE スチール(株) 「高機能冷却設備 Super-RQ による厚鋼板製造技術」

(2009 年度からの認定企業数は会員企業累計 18 社・34 件、全市合計 120 件)

◇「川崎国際環境技術展実行委員会」（事務局 川崎市経済労働局イノベーション推進室）

[監事] 足立芳寛理事長

[企画部会] 当 NPO の次の会員企業 5 社が部会メンバーとして参加した。

味の素(株)、ENEOS(株)、JFE エンジニアリング(株)、JFE スチール(株)、東京ガスネットワーク(株)

◇「川崎区企業市民交流事業推進委員会」（事務局川崎区まちづくり推進部）

[委員] 長瀬事務局長、

[会員企業] 当 NPO の次の会員企業 6 社が参加した。

味の素(株)、ENEOS(株)、JFE スチール(株)、昭和電工(株)、東京ガスネットワーク(株)、
東京電力パワーグリッド(株)

◇「川崎市環境審議会脱炭素化部会」（事務局 川崎市環境局）

[臨時委員] 小泉専務理事

[主な活動内容]

2022 年 3 月に改定した「川崎市地球温暖化推進基本計画」に基づき、新たな事業者評価制度の創設など「川崎市地球温暖化推に関する条例」改正に向けた重要施策の考え方を審議するため「川崎市環境審議会」に設置した「脱炭素部会」に委員として参加し 5 月から 10 月まで延べ 5 回の部会に出席した。

◇「川崎港長期構想検討委員会」

[委員] 小泉専務理事 会員の ENEOS(株)も委員として参加

[主な活動内容]

川崎港の今後の役割を踏まえ長期的視野に立った川崎港の将来像やその実現に向けた取組みの方向性等を検討する委員会に参加し委員会に 1 回出席した。

◇「当法人及び会員企業が参加するその他の主な会議」

a 京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議

[目的] 川崎臨海部のコンビナートにおいて、企業間連携による高度化の取組について検討・事業化を図ることにより高付加価値・環境共生型の産業集積をめざす。

[設置] 2008 年 1 月

[構成員] 臨海部立地企業、経済産業省(資源エネルギー庁、関東経済産業局)、神奈川県、川崎市、横浜市、当 NPO 法人

[事務局] 神奈川自治振興部地域政策課、川崎市臨海部国際戦略本部

<第 1 回>2022 年 6 月 10 日(金) Zoom によるオンライン会議で開催

b 川崎臨海部防災協議会

[目的] 東日本大震災の経験を踏まえて、川崎臨海部における災害の未然防止や発生した災害の拡大防止を図るとともに、市民及び従業員等の安全確保及び二次災害の防止、企業の事業継続性の確保などの課題について協議・検討する。

[設置] 2012 年 1 月

[構成員] 臨海部立地企業、臨海部関連産業団体及び川崎市

会員企業から旭化成(株)、ENEOS(株)、JFE アーバンリサイクル(株)、JFE スチール(株)、クレハ環境(株)、(株)レゾナック、東亜石油(株)、富士電機(株)及び当 NPO 法人

[事務局] 川崎市総務企画局危機管理室、臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部

[活動概要]

地域防災力の充実・強化、防災対策の進捗状況、新型コロナウイルスに対する川崎市の対応、今後の取組等が情報共有された。

<第1回> 2022年5月27日(金) 川崎市役所第3庁舎会議室

<第2回> 2022年11月25日(金) 川崎市役所第3庁舎会議室

※予定 <2022年度川崎臨海部広域防災訓練>

日時：2023年3月22日(水)

訓練内容：地震発生時に、臨海部各島の交通が途絶したことを想定し、臨海部事業所・団体、行政間でメーリングリスト等を活用した情報伝達訓練を実施予定。

- ・日時 各協議会、委員会等が設定した日時
- ・場所 各協議会、委員会等が設定した場所
- ・従事者人員 2人
- ・対象者 各協議会、委員会等に出席した対象者

3 運営体制等

(1) 役員は11名体制のもとに、理事長を中心に事業計画・予算等の主要な方針を決定するとともに、川崎市との政策懇談等の当NPO法人の重要な具体事業において主要な役割を担った。

(2) 会員数 (2023年1月末現在)

団体会員19社、個人会員16人及び賛助会員2社

(3) 幹事会は、引き続き次の7社で運営した。会合は新型コロナウイルス感染症対策のためMicrosoft Teamsを使用したWebでの開催となった。(4月、6月、8月、1月)当NPO法人の事業活動の企画・運営全般にわたり協議、意見交換を行い、事業の円滑かつ効果的な推進に努めた。

- ・幹事長 ENEOS(株)
- ・副幹事長 東京ガスネットワーク(株)
- ・幹事 JFEスチール(株)、(株)デイ・シイ、東亜石油(株)、東京電力パワーグリッド(株)
(株)浜銀総合研究所

2022 年度事業報告

特定非営利活動法人 産業・環境創造リエゾンセンター

1 2023 年 3 月 31 日現在の会員数

団体会員 19 社
賛助会員 2 社
個人会員 16 名

2 2022 年度の主な事業活動報告

<4 月>

12 日 (火) NPO 会員並びに川崎市関係局職員向けメールニュースの配信
12 日 (火) 第 1 回川崎市・リエゾンセンター定例情報交換会
12 日 (火) 第 1 回幹事会
26 日 (火) 第 1 回リエゾン研究会 (JFE スチール(株)東日本製鉄所京浜地区視察)

<5 月>

11 日 (水) NPO 会員並びに川崎市関係局職員向けメールニュースの配信
16 日 (月) 第 1 回 C C 川崎エコ会議理事会 (理事長・専務理事が出席)
18 日 (水) 小澤監事による 2021 年度事業及び決算についての監査
23 日 (月) 第 1 回低 C O 2 川崎ブランド等推進協議会 (理事長が出席)
23 日 (月) 第 1 回理事会 (通算第 71 回)・第 1 回通常総会・記念講演会・懇親会
25 日 (水) 第 1 回川崎区企業市民交流事業推進委員会 (事務局長が出席)
27 日 (金) 第 1 回川崎臨海部防災協議会 (専務理事が出席)
31 日 (火) 川崎市環境審議会第 1 回脱炭素部会 (専務理事が出席)
31 日 (火) 川崎港長期構想検討委員会 (専務理事が出席)

<6 月>

9 日 (木) 第 1 回川崎国際環境技術展実行委員会 (理事長の代理で専務理事が出席)
10 日 (金) NPO 会員並びに川崎市関係局職員向けメールニュースの配信
10 日 (金) 第 1 回京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議 (事務局長が出席)
15 日 (水) 第 72 回理事会開催 (書面開催 (理事長・専務理事選任の件))
29 日 (水) 第 2 回幹事会

<7 月>

7 日 (木) NPO 会員並びに川崎市関係局職員向けメールニュースの配信
19 日 (火) 川崎市主催「製造現場における DX 及び脱炭素化促進講座」に協力
20 日 (水) 第 2 回リエゾン研究会 (羽田イノベーションシティ視察)
26 日 (火) 会報(第 43 号)を発行
27 日 (水) 川崎市環境審議会第 2 回脱炭素部会 (専務理事が出席)

<8月>

- 5日(金) NPO 会員並びに川崎市関係局職員向けメールニュースの配信
- 22日(月) 川崎市環境審議会第3回脱炭素部会(専務理事が出席)
- 25日(木) 第3回幹事会

<9月>

- 8日(水) NPO 会員並びに川崎市関係局職員向けメールニュースの配信
- 8日(木) 川崎市主催「製造現場の安全管理講座前期①」を共催
- 13日(火) 川崎市環境審議会第4回脱炭素部会(専務理事が出席)
- 14日(水) 第3回リエゾン研究会(「臨海部ビジョン」リーディングプロジェクト改定に向けた意見交換(ワークショップ))
- 21日(水) 川崎市主催「製造現場の安全管理講座前期②」を共催

<10月>

- 6日(木) NPO 会員並びに川崎市関係局職員向けメールニュースの配信
- 3日(木) 第1回川崎臨海部活性化推進協議会
- 4日(火) 川崎市主催「製造現場の安全管理講座前期③」を共催
- 12日(水) 第2回低CO2ブランド推進協議会(理事長・専務理事が出席)
- 13日(火) 川崎市環境審議会第5回脱炭素部会(専務理事が出席)
- 13日(木) 川崎市主催「製造現場の安全管理講座前期④」を共催
- 17日(月) 第2回川崎国際環境技術展実行委員会(理事長の代理で専務理事が出席)
- 25日(火) コンビナート都市連携シンポジウム2022(第13回)開催
- 26日(水) スマートライフ大賞表彰式(理事長、専務理事が出席)

<11月>

- 2日(水) 川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会
- 2日(水) 港湾整備負担金に伴う環境整備事業説明会
- 8日(火) NPO 会員並びに川崎市関係局職員向けメールニュースの配信
- 10日(木) 第2回理事会(通算第73回)・臨時総会・政策懇談会
- 11日(金) 臨海部企業交流イベント(味の素、ナノ医療イノベーションセンター施設見学会)
- 15日(火) 循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議
- 17日(木)~18日(金) 第15回川崎国際環境技術展に出展
- 21日(月)~12月4日(日) カワリンウォーク 2022秋大会
臨海部立地従業員を対象としたオンライン・ウォークイベント
- 21日(月) カワリンウォーク第1回交流会
川崎マリエン周辺・千鳥エリアの交流ウォークイベント
- 22日(火) 第4回リエゾン研究会
(東亜石油によるドローン活用による保安業務の実証実験結果等の情報共有)
- 23日(水・祝日) 知ろう・学ぼう かわさき企業市民交流 DAY(会場はルフロン)に出展

<12月>

- 1日(木) 会報発行(第44号)
- 8日(水) NPO 会員並びに川崎市関係局職員向けメールニュースの配信
- 10日(土) カワリンウォーク第2回交流会
羽田イノベーションシティ～キングスカイフロントのウォークイベント

2023年

<1月>

- 17日(火) NPO 会員並びに川崎市関係局職員向けメールニュースの配信
- 12日(木) 川崎市主催「製造現場の安全管理講座後期①」を共催
- 25日(水) 川崎市主催「製造現場の安全管理講座後期②」を共催
- 26日(木) 第4回幹事会

<2月>

- 8日(水) NPO 会員並びに川崎市関係局職員向けメールニュースの配信
- 8日(水) 第3回理事会(通算第74回)・政策懇談会
- 9日(木) 川崎市主催「製造現場の安全管理講座後期③」を共催
- 17日(金) 川崎市主催「製造現場の安全管理講座後期④」を共催

<3月>

- 7日(火) NPO 会員並びに川崎市関係局職員向けメールニュースの配信
- 10日(金) 第5回リエゾン研究会
- 15日(水) 第2回川崎臨海部活性化推進協議会
- 22日(水) 令和4年度川崎臨海部広域防災訓練
- 31日(金) 会報発行(第45号)